

## 江戸時代の甲賀流忍者

1603 年に徳川家康が天下統一を果たし、江戸幕府が開かれ、平和な時代が到来しました。

### 島原の乱

1637 年から 1638 年にかけて起こった島原の乱は、甲賀忍者が関与した最後の大きな戦いでした。16 世紀に日本に伝来したキリスト教は、幕府によって弾圧されていました。この反キリスト教政策に対し、若き日本人キリシタンである天草四郎（1621-1638）が、現在の長崎県や熊本県で反乱を起こしました。四郎とその軍勢は、長崎県南部にある放棄された城である原城を拠点としました。

1638 年、反乱を阻止するために派遣された部隊の中に 10 人の甲賀流忍者がおり、彼らの任務は原城内から情報を収集することでした。彼らは城に潜入し、反乱軍の食糧供給を妨害することに成功しましたが、聞き慣れない九州弁に困惑し、逃げる前に敵の罠にかかってしまいました。

### 甲賀古士

1603 年の徳川幕府による天下統一後、需要の減少に直面し、貧困にあえぐ家もありまし

た。

そして 1789 年、甲賀古士は江戸に旅立ち、幕府に自分たちの血統と職業意識を証明する目的で「万川集海」（忍者の知識を詳しくまとめたもの）を献上しました。その努力の甲斐あって、古士たちは甲賀の家族のために持ち帰るための銀を受け取ることができました。